

連携提案: 音声言語表現活動を導入した表現力と論理的思考力の育成

キーワード: 言語活動 音読 群読 朗読 ディベート スピーチ 脳トレ 文学 古典 協働活動 心の距離感

学校教育学系 教授 片桐史裕 Katagiri Fumihiko

連携提案内容と効果

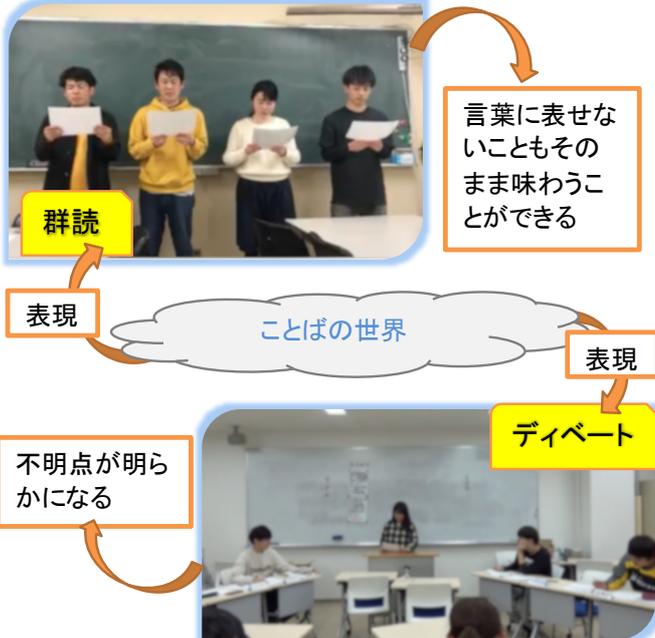
音声言語表現活動は、学校の国語の授業でもあまり取り入れられないもので、「人前で上手に話す」、「相手に伝わるように話す」、「相手の言っていることを的確に聴き取る」、「相手の話の矛盾点を見つける」など、社会で生きていく上で重要な能力が学校で十分に育てないまま学校を卒業していく現状があります。それは、学校教育での国語が文字言語、「読み書き」中心に行われているという背景があります。

様々な音声言語表現活動の機会を設け、練習したり考えたりすることにより、話すこと、聞くことの力が備わっていきます。

声を合わせて作品を音読、朗読する「群読」をすることで、文字で書かれた文学の世界を感じて、自分のものにすることができ、一緒に演じた仲間との距離感もぐっと縮まります。声の力にはそんな不思議な効果があります。

ディベートをすることで、相手を説得する方策を得たり、相手の話の矛盾点に気づく力も得られます。世知辛い昨今、犯罪者に欺されない力を身に付ける教育活動になります。

言葉で書かれた世界を音声言語で表現することにより、不明確だった世界を明らかにしたり、文学世界をまるごと味わうことができます。



アピールポイント

様々な学校(小・中・高校)や、教員向け研修会で群読のワークショップを開いています。音声言語表現研究会を年5~6回開催し、参加者の表現活動を鍛える活動をおこなっています。群読関連書籍を多数執筆しています。

連携したい分野

- ・音声言語表現活動を取り入れたい学校
- ・「聞く力」を子どもたちに付けさせたいと考えている学校
- ・論理的思考力を鍛えて、事業開発をしたい、職員間の人間関係を円滑にしたいと考えている企業、自治体等

研究テーマ: 音声言語表現活動によることばの世界の獲得、批判的に聞く力の獲得

	プロフィール	専門分野	臨床教科教育学 学級経営学
	1966年新潟県新潟市生まれ。1989年新潟県高等学校国語科教員に採用され、26年間学校現場で働く。2016年から上越教育大学教職大学院で働く。日本群読教育の会理事、臨床教科教育学会理事。	主な研究内容	群読脚本制作過程の研究 学習者のつまずき解消過程の研究 学び合う文化の醸成の研究
	関連URL	https://katagiri41.wixsite.com/katagiri-lab	

- 関連する業績等**
- 「新しいつでもどこでも群読」日本群読教育の会、高文研 2017年7月
 - 「古典を楽しむ―俳句から平家物語まで(“群読”実践シリーズ)」日本群読教育の会、高文研 2008年10月
 - 「群読脚本に反映される学習者の意図の研究」上越教育大学教職大学院研究紀要 16 51-60 2019年2月
 - 「群読脚本作成過程の研究」上越教育大学教職大学院研究紀要 5 41-57 2018年2月
 - 「理解と表現を融合する古典群読授業の実践」上越教育大学教職大学院研究紀要 4 47-54 2017年2月

お問い合わせは、 片桐研究室 katagiri@juen.ac.jp